

平成 29 年度日本海ソデイカ(あかいか)漁況情報(中短期予報)

* 但馬地域の沿岸漁業にとって重要な対象種となっている「ソデイカ(あかいか)」について、現況と中短期的な漁況予報をお知らせします。操業の参考になれば幸いです。

現況と見通し(予報対象期間:平成 29 年 10~11 月)

【現況:9 月下旬まで】

- ・ 漁況指標値(香住本所の 1 日 1 隻あたり漁獲量)は、9 月上旬に 69kg、9 月中旬に 125kg、9 月下旬に 213kg と推移している。(参考値:10 月初旬(10/4 まで)に 127kg)
- ・ 漁獲物のサイズは、9 月下旬の時点で胴長 50cm 台後半~60cm 台前半(体重 7~10kg)が主体である。

【今後の漁況予報】

- ・ 小型サイズ(胴長 30cm 台)の加入が少なく、今後しばらくは現在の群が成長していき、胴長 60cm 台前半~70 台前半が漁獲の主体となる。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域は、但馬沿岸(概ね北緯 36° 以南)に張り出す可能性は低い。
- ・ 好漁場の指標となる水深 100m における水温 15°C の等温線の配置は、9 月中・下旬には沿岸近くにあったが、今後は徐々に北上するため漁場は拡散する。

*日本海西部海域の海況予測には、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産総合研究センター日本海区水産研究所の拡張版日本海海況予測システム(JADE2)を利用しました。
 (http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/)

1. 漁況の推移 (図1)

漁況の指標としている JF 但馬香住本所の 1 日 1 隻あたりの漁獲量(旬別平均値)は、8 月中旬~9 月上旬は 47~77kg で、9 月中旬以降は 125~212kg で推移しています。※図 1 の 10 月上旬は 10/4 までの速報値。

今漁期のはじめは低調でしたが、9 月中旬以降は平年並み以上で好調な漁模様となっています。

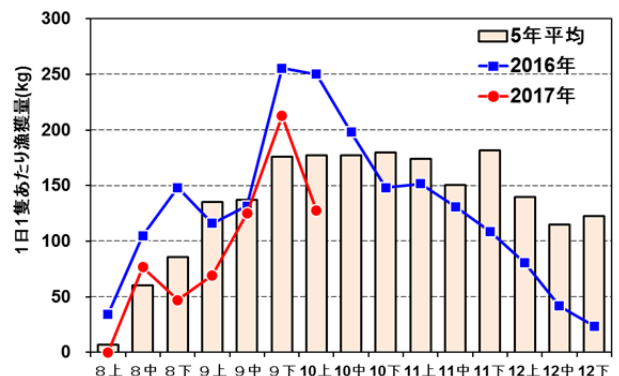


図1 旬別1日1隻あたり漁獲量の推移(JF 但馬香住本所)

2. 漁獲物組成の推移 (図2)

JF 但馬香住本所での市場調査の結果、9 月上旬の漁獲物のサイズはばらつきがありますが、概ね胴長 50cm 台(体重約 5~6kg)が主体でした。それが成長に伴い、9 月中旬には 50cm 中盤(6~7kg)、9 月下旬には 50cm 台後半~60cm 前半(7~10kg)となっています。

現在は、胴長 50cm 台後半~60cm 台前半が漁獲の主体であり、今後しばらくは、この群が成長しながら漁獲の中心となるものと考えられます。

また、例年、10 月頃に別の小型サイズの群が加入してきますが、今漁期は加入が少ないため、前年度漁期同様に漁期後半は大型サイズが大半を占める可能性があります。

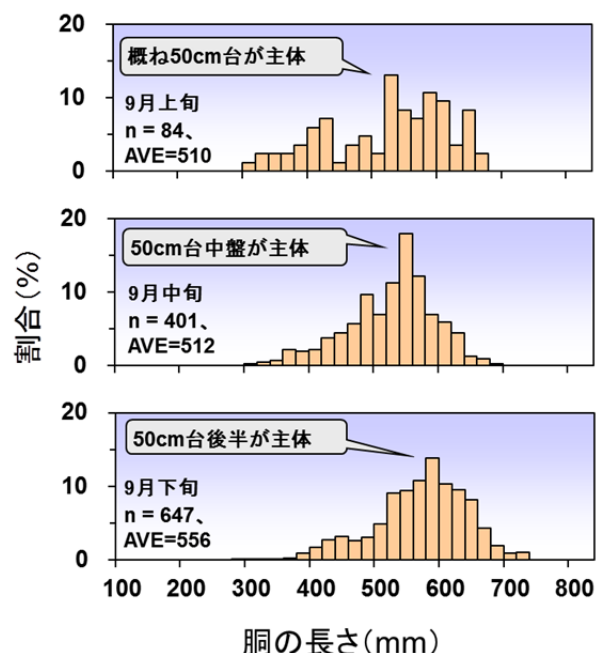


図2 漁獲物の体長組成

3. 漁場環境の推移 (図3)

これまでの調査により、好漁場は水深 50m の水温が 19°C以上、水深 100m の水温が 14~15°C以上の海域に形成されることが分かっています。また、この時期の山陰沖漁場の水温は、季節的な変動よりも沖合部に出現する冷水域の動きに大きく影響されます。

今漁期の 50m 深、100m 深の水温の変化を「拡張版日本海海況予測システム (JADE2)」により予測しました (図3)。

・太い赤線 (50m 深の 19°C、100m 深の水温 15°C) 示した等温線よりも水温の高い海域が「好漁場」となる可能性のある海域です。

・但馬沖には小規模な冷水域が漁期を通して存在し、これが今漁期の漁場形成に影響を及ぼすことが考えられます。

【9 月下旬】(図3上段)

・但馬沖では 100m 深において水温 15°C の等温線が北緯 36° 以南にありました。

・その沖合の北緯 38° 30 付近を中心に小規模な冷水域が存在していました。

【10 月中旬】(図3中段)

・以前として北緯 38° 30 付近を中心に小規模な冷水域があり、但馬沖では 50m 深において水温 19°C の等温線が北緯 37° 以北に北上し、100m 深において水温 15°C の等温線は全体的に北上しますが、部分的に北緯 36° 以南に入り込むと予測されます。

【11 月上旬】(図3下段)

・但馬沖の冷水域の中心は北緯 37° 30 付近まで南下し、この冷水域を除く山陰沖の広範な海域で水温が 15°C 以上になると予測されます。

・但馬沖では 50m 深において水温 19°C の等温線が北緯 36° 30 付近に南下しますが、100m 深において水温 15°C の等温線が北緯 36° 30 以北に北上すると予測されます。

冷水域や暖水域の影響により、海域によっては海流の向きに大きな変化 (速い逆潮等) が生じる場合がありますので、作業時にはご注意ください。海流の予報については、当センター発表の「海の天気図」(図4)や「センターだより (海況情報)」もご参照下さい。

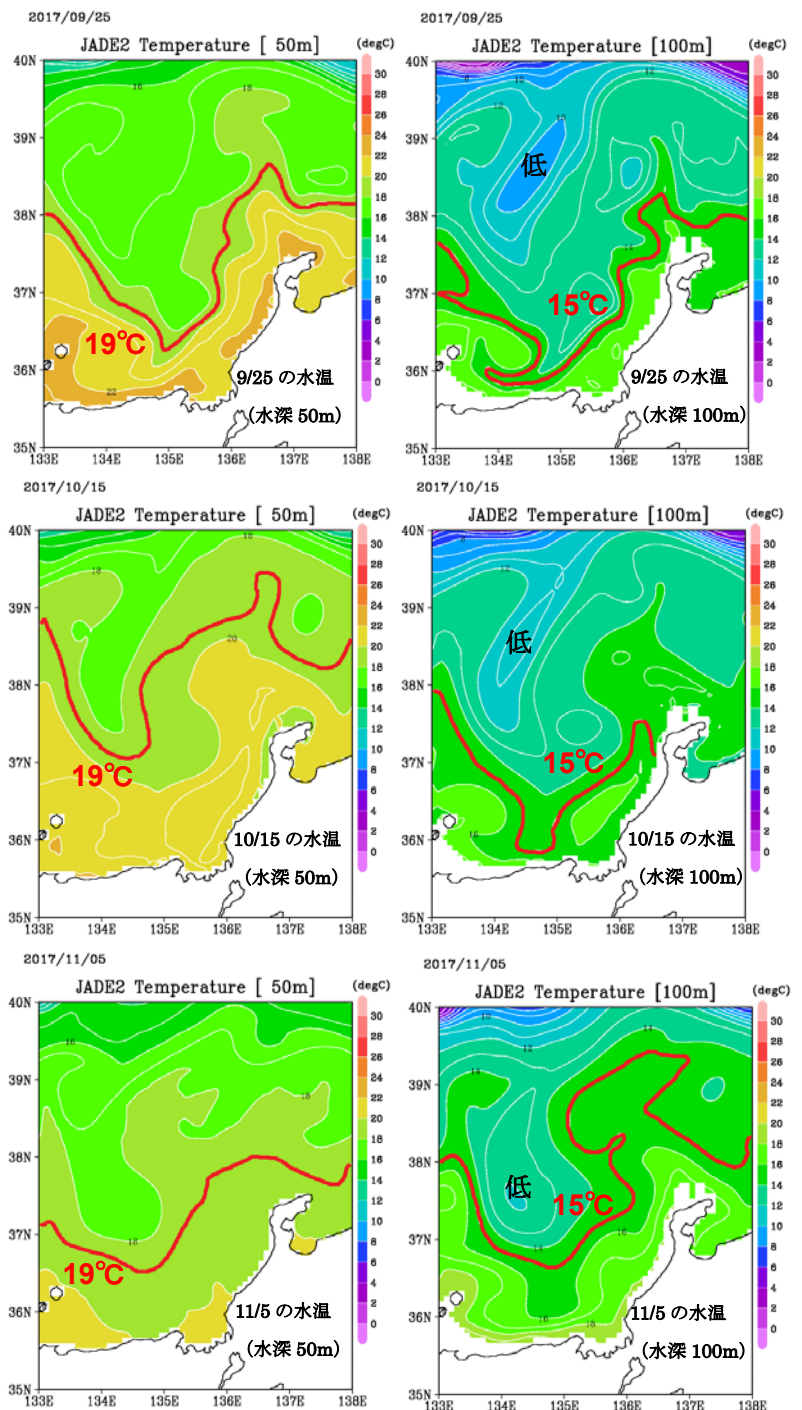


図3 水深 50m(左)、水深 100m(右)の水温分布予測 (太線:50m 深における 19°Cの等温線または 100m 深における 15°Cの等温線)

4. その他

最新の日本海沿岸の海況予報

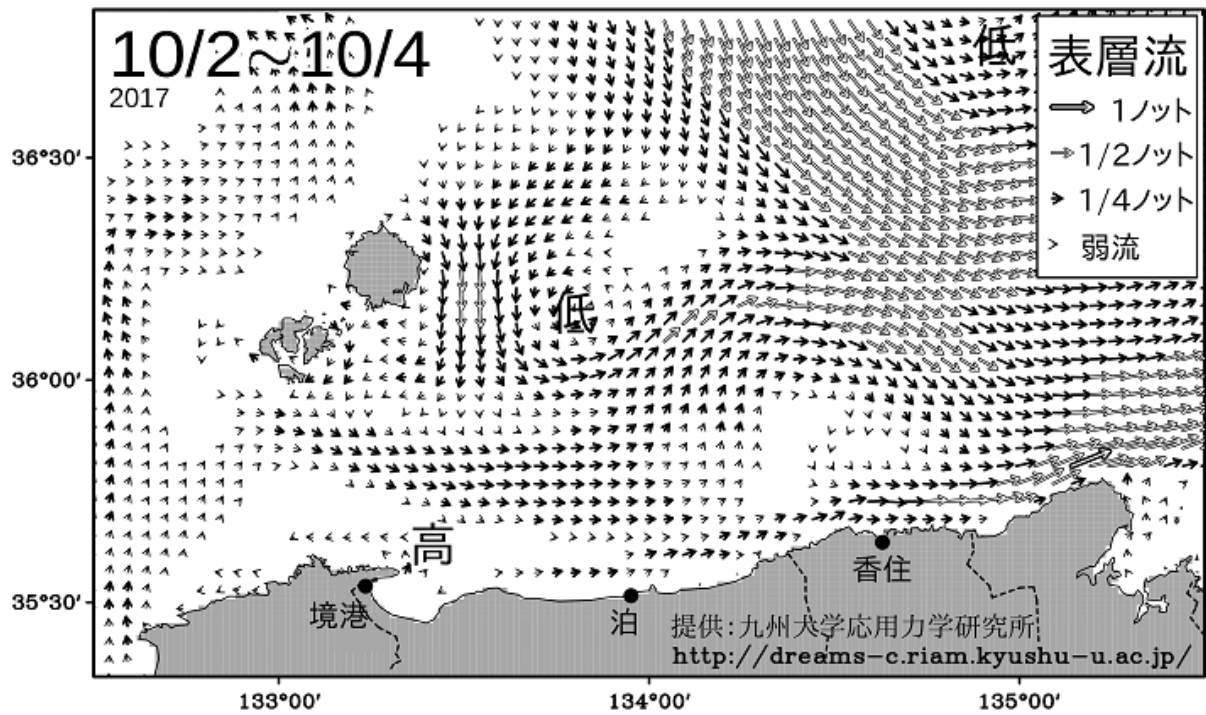


図4 「海の天気図」の一例*

*10月2日に発表した10月2~4日の予測
(次回、10月9~11日の予測は10月9日発表予定)